2016年度　事業報告書

特定非営利活動法人チャイルド・ケモ・ハウス

１　事業実施の方針
2016年度は、小児がんおよび医療的ケアが必要な子ども達に対して小児慢性特定疾病児の自立支援事業等を中心に、支援を行った。施設利用者をはじめ在宅療養中の患児や家族にたいしてのチャイルド・ケモ・ハウスの相談窓口の体制を充実させるとともに、学習支援や通学支援などについて教育や福祉部門とのさらなる連携をはかった。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の金額（千円） |
| (1)小児がん分野におけるQOLの向上に関する研究事業 | 小児がんをはじめ長期療養中の子ども達の体力維持のためコミュニティースポーツプログラムづくりと実践 | 2015年10月1日～2016年9月30日 | チャイルド・ケモ・ハウス | 5 | 小児がん経験者、小児がん患児、患児家族他　約30名 | 2,934 |
| 小児がんをはじめ、難病の小児患児への教育やあそび環境の充実 | 2016年4月1日～2015年8月末 | チャイルド・ケモ・ハウス | 10 | 小児がん経験者、小児がん患児、患児家族他　約20名 |
| (2)小児がんに対する正しい知識の普及を目的としたイベントの企画、運営と普及啓発事業事業名 | ボランティアの参加によるバザー用品の作成と各種イベントなどでの販売と啓発活動を実施する事　業　内　容 | 2016年度数回実施日時 | 全国実施場所 | 10従事者の人数 | 一般人約300名受益対象者の範囲及び人数 | 1,827事業費の金額（千円） |
| (2)小児がんに対する正しい知識の普及を目的としたイベントの企画、運営と普及啓発事業 | チャイルド･ケモ･ハウスチャリティーウォーク2016　～神戸から未来へチャイケモ色でつなごう！～(実行委員として参加) | 2016年6月18日 | 兵庫県下 | 100 | 一般参加者・支援者等約850名 |  |
| 夢の病院をつくろうプロジェクト（インターネット上でコンセプトの告知と支援のお願い） | 通年 | インターネット上 | 3 | 一般人　約50名 |
| チャイルド・ケモ・ハウスのブログ、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、講演等による情報の発信 | 通年 | インターネット上 | 5 | 約7000名 |
| 発行物の作成　チャイルド・ケモ・ハウスの活動を伝える『チャイケモつうしん』の発行　 | 年2回発行 | チャイルド・ケモ・ハウス | 5 | 約500名/回 |
| グリーンフラッグプロジェクト小児がんの現場からの新たな取り組みが世の中に広く知られるために “たのしく、つたえる”活動を実施 | 通年 | チャイルド・ケモ．ハウス | 20 | チャイルド・ケモ・ハウスの近隣住民、一般人約30名 |
| 事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の金額（千円） |
| (3)小児がんに関わる全ての人への支援事業　小児がん患児、家族の闘病生活支援、小児がん闘病生活のQOL向上を目指す団体への支援 | 小児がん患児、家族の闘病生活支援、小児がん闘病生活のQOL向上を目指す団体への支援を行う為の準備と実施 | 通年 | チャイルド・ケモ・ハウス他 | 12 | 施設利用者（患児、家族）、在宅療養中の患児・家族等、ハウスで働くスタッフ、ボランティア、同様の支援を行う他団体　約150名） | 23,085 |
| チャイルド・ケモ・ハウスのコンセプトを広めるチャリティーTシャツ及びチャリティーグッズの販売 | 通年 | チャイルド・ケモ・ハウス他 | 20 | 一般人　約1200名 |
| 夢の自動販売機の設置の普及 | 通年 | 全国 | 5 | 支援者、一般人、企業　70台設置 |
| 募金箱設置の普及、募金の回収 | 通年 | 全国 | 20 | 支援者、一般人、企業　93台設置 |
| 小児がんをはじめ、難病の子ども達の学校復帰や自立を支援する学習支援事業（塾や学生サポーターとの連携による支援を実施） | 2016年1月1日〜2016年12月31日 | チャイルド・ケモ．ハウス | 10 | 小児がんをはじめ難病の子どもとその家族　約100名 |
| 事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の金額（千円） |
| (3)小児がんに関わる全ての人への支援事業　小児がん患児、家族の闘病生活支援、小児がん闘病生活のQOL向上を目指す団体への支援 | 医療的ケアに対応した地域連携ハブ拠点のモデルづくり | 2016年4月1日〜2017年3月31日 | チャイルド・ケモ．ハウス | 10 | 小児がんおよび医療的ケアが必要な子どもと家族の支援者および団体　約20名 |  |
| (4)小児がん分野における医療者及び支援者の人材育成事業 | 難病・小児がん患児のためのプレパレーションツール作成用備品の購入とプレパレーションを実施することのできる人材の育成 | 2015年7月1日〜2016年6月30日 | チャイルド・ケモ・ハウス | 5 | 小児がん経験者、患児家族教育、医療、福祉関係者約10名 | 1,411 |
| 重い病気を抱える子どもたちの遊ぶ機会、学ぶ機会を届けるボランティアスタッフ育成事業 | 2017年1月1日〜2017年12月31日 | チャイルド・ケモ・ハウス | 5 | 小児がん経験者、患児家族教育、医療、福祉関係者約20名 |
| (5)小児慢性特定疾病児童等の自立支援事業 | 神戸市、西宮市、尼崎市の委託による小児慢性特定疾病児等の自立支援事業の実施（電話、面談、訪問等の相談支援を中心に、学習、病院つきそい等の支援も必要に応じて実施、その他の市についても実施 | 通年 | チャイルド・ケモ・ハウス神戸市西宮市尼崎市 | 3030 | 小児がんの患児をはじめ小児慢性特定疾病児とその家族、また彼・彼女らを支援する医療、福祉、教育関係等。約100名 | 16,440 |